

使用開始から4日目のターンオーバー後は触れたくなるシルキー肌へ

テスト条件 使用量:3mL中、1回あたり約0.1~0.15mL // 使用方法:洗顔後、両頬に塗布し、顔全体に均一に伸ばす。他の化粧品は一切使わない // 使用頻度:1日1回、毎日 // 使用期間:7日間
// 被験者:45歳・男性 // 肌悩み・期待:加齢により縦に伸びた毛穴の目立ちの改善を期待
観察方法 毎日、使用後および経過を鏡で確認 // 触感の変化についても併せて記録
結果・所感 鏡で視認する限り、毛穴の大きさや形状に大きな変化は確認できなかった一方で、肌に触れた際のなめらかさ・シルキーな質感の向上を実感した



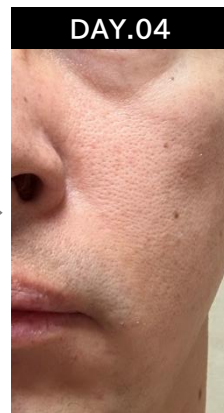
パッチテストは問題なし。
塗布から5分間のツッパリ感が強く「化粧水が欲しい!」と感じる



ツッパリ感との戦い。
効果が目に見えてないのてつらい。



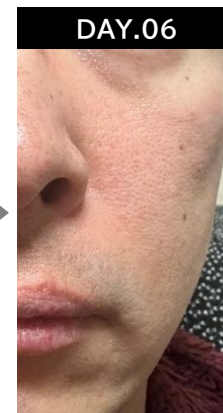
ツッパリ感との戦い。
ここで辞めちゃう人もいます。



ツッパリ感は変わらないが、「あれ?肌がシルキーに感じる」と効果実感。



塗布後すぐのツッパリ感が弱くなり、肌の学習が終わったと感じる。



塗布後すぐのツッパリ感が弱いが部分部分にある感じ。塗布量によると想像。



塗布後すぐのツッパリ感は変わらず。部分部分にある感じも変わらず。



POINT

- ① 塗布から5分間のツッパリタイム後の化粧水、乳液、メイクの手順。
- ② ターンオーバー(体験者の場合4日間)を超えるとツッパリ感が減少。
- ③ ちゃんと均一に伸ばすことが重要。塗布量が少なかった箇所はツッパリが続く。
- ④ 7日間、総じて塗布後6時間程度で効果が収まり、オイリーになる。

→ 塗布して5分置くことと、お昼ごろ化粧水で潤いを補給することで一日中、気持ちよく効果を体験できる。

考 察

本製品は使用数日後に肌触りが安定し、シルキーで均一な質感が得られた点から、角層環境を整える効果は明確に実感できる一方、毛穴など形状変化を短期で起こす処方ではないことも確認された。この結果は、フラレンやEGF、セラミド類による抗酸化・再生サポートとバリア調整が主軸であり、皮脂制御や収れんに特化した成分を含まないため、単体使用では保湿や密閉の点でやや不足が生じやすい設計であることに起因すると考えられる。そのため本製品はブースター的な位置付けで、ヒト幹細胞培養上清液などのサロン施術後に化粧水やクリームと必ず併用することで、施術効果を安定・持続させ、単体使用以上の価値を発揮すると感じた。